

広報 ふじがわ

3.4.5月号

42. 5. 15

町の現況		
面積		31.09K㎡
人口	42,511現在	14,821人
男		7,332人
女		7,489人
世帯数		3,264世帯
町議員数		18人

議長に渡辺忠作氏 選挙後、初の町議会で



議長 渡辺 忠作氏

副議長 佐野 義策氏

次号に掲載。なお、この日決められた他人事は次ページ

激しい選挙戦を経て

十八議員登場

選挙終了の翌日四月二十九日、役場会議室で、谷津倉選挙管理委員長から、十八名の新議員に当選証書が授与されました。

同委員長は、公正な文書・言論で堂々と戦い、選挙違反の無かつたことに対し謝辞を述べ、今後の活躍に期待するとあいさつ。

議長 渡辺忠作 副議長 佐野義策
常任委員会

総務 委員長 若月清・代理 渡辺清

委員 高岡太郎・望月亀蔵・坪内佐吉

・望月好夫建設委員長 芦川守正

代理 市川政男・委員 桐山良雄・鈴木富治

・太田義雄・太田竹蔵厚生

委員長 齋藤武司・代理 齋藤六郎・委員 齋藤昌己

・渡辺忠作・佐野義策

(小池川改修促進、高速度道路公署

対策、一小改革、二小・幼建設、

広域都市調査研究・富士川用水対策等の特別委員会の委員も決定

しましたが、各委員長が未決のため

立候補者で選挙が行なわれたわけですが、その選挙戦の内容は激烈なものとなり、開票の際も追いつ追われつとの接戦となり、最終まで子断を許さぬものだっただけに、各議員の顔には、一週間の苦勞の影と町政参加への新しい希望の輝きとが交錯していました。



写真 後列左より 芦沢収入役・高岡太郎・望月亀蔵・齋藤昌己・芦川守正各議員・高岡助役・谷津倉四郎、小野日央各選挙管理委員・中列左より 古川喜代松、齋藤六郎、若月清、鈴木富治、桐山良雄、太

田竹蔵、太田義雄各議員・谷津倉選挙管理委員長、望月選挙管理委員・前列左より 望月好夫、齋藤武司、佐野義策各議員・中川町長・渡辺忠作、市川政男、坪内佐吉、渡辺清各議員。

一ページより(敬称略)

富士川町蒲原町

富士川水防事務組合議会

議員には

渡辺清・佐野義策・太田竹蔵

国民健康保険

蒲原町外三ヶ町組合議会

議員には

望月亀蔵・斎藤昌己・坪内佐吉

鏡武司

蒲原町外二町隔離病舎

組合議会議員には

教育委員に

花田氏を起用

中川町長は、議会の同意を求め大村益氏が、一身上の都合により今年三月三十日退職以来、空席となっていた町教育委員に花田一太郎氏を起用しました。

これにより花田氏は前任者の残任期間、昭和四十五年九月三十日までの三年半を務めることになりました。

同氏は、先の町議選に立候補しましたが、締切前に都合により辞



花田一太郎氏

古川喜代松・渡辺清・望月好夫
齋藤六郎

富士川町外二ヶ町

衛生処理組合議会

議員には

古川喜代松・望月亀蔵・斎藤昌己・桐山良雄・望月好夫・齋藤六郎・市川政男

豊道富士宮由比線

市町道富士川由比線

道路組合議会議員には

高岡太郎・桐山良雄・渡辺忠作

市川政男

都市計画地方審議会委員には

望月亀蔵・齋藤六郎・芦川守正

公営住宅

入居選考委員会

委員には

渡辺清・望月好夫・鏡武司・齋藤六郎・鈴木富治・佐野義策・太田竹蔵

委員には

町監査委員交代

任期の満了していた町監査委員(二名)が五月六日に選任されました。

議会からは芦川守正議員。学識経験者として石川均氏。前任者との引継ぎの後、三〇四年の任期中町財政のあらゆる面について監査することになります。

(両氏の略歴)
芦川守正 木島・46歳・富士宮農卒・会社専務・議員三期目・農協理事・社会教育委員・文協理事
石川均 道上・65歳・富士郡準教員養成所卒・会社社長、農業・村助役を経て、議員十六年

前任者の太田義雄氏(東町・現議員・会社員)は三十八年五月八日就職、四十二年四月二十九日まで四年間、武下市松氏(根方・会社社長)は三十九年四月二十七

奨学金審査委員会

委員には

渡辺清・渡辺忠作・若月清・市川政男

(以上は、富士川町議員関係の人事の異動)

国保運営協議会

委員選任

五月六日、町国民健康保険運営協議会委員を次のように選任しました。

(1)被保険者を代表する委員

宇佐義晴雄 堀の内 再任

角替 健一 木島 〃

望月 貞蔵 上町 〃

村松 隆一 東町 〃

(2)国民健康保険医または国民健康保険薬剤師を代表する委員

秀村 敏朗 道上 再任

宮沢 孝 本通り一 新任

立花 平次 旭町 再任

田中 ひで 本通り一 新任

(3)公益を代表する委員

古川喜代松 宮町 新任

斎藤 昌己 東町 再任

坪内 佐吉 本通り四 新任

鈴木 富治 中沢 新任

選管委員

留任

任期満了を迎えた町選管管理委員四名、同補充員四名は、五月六日、欠員補充員一名を新任、ほかは再任されました。

選挙管理委員
谷津倉 昇 室野
谷 莊四郎 本通り四
小野 日央 上町
望月 鈺 山田
同補充員
望月 莊一 小池
桐谷 定雄 本通り一
藤島 実 坂下
小沢 素良 市場(新任)

固定資産評価審査委員

一名交代

町固定資産評価審査委員鈴木富治氏が町議選立候補にともない辞職したため、五月六日、望月貞一郎氏(根方)を新任しました。これにより委員会の構成員は次のようになります。

(委員三名・敬称略)

雨宮周司 上町

芦川利一 木島

望月貞一郎 根方

42年度町政は

何に重点をおくか

町の子算は、その編成上、国の予算及び県の予算に深い関係があります。

地方財政は、給与改訂による人件費が年々膨張し、社会開発などの公共事業費がかさむ反面、地方税増収の期待は、国税の減税、企業の伸びなやみなどで、明るい見通しをたて得られない現状にあります。このため、自主財源をもつて義務的経費の支出をすることのできない市町村は多数にのぼり、地方財政の運営は、さわめて困難な時期に直面しています。

- (1) バイパス道路の新設
- (2) 国道歩道橋の増設
- (3) 岩淵駅の改築
- (4) 岩淵踏切の拡幅
- (5) 小池川の改修

など、国・県に対して、この促進を積極的に行なう決意を固めています。

予 算

三億三千三百十万円

東駿河湾工業整備事業である産

業・土木・都市計画事業等当面する事業が山積しており、とくに当面の問題としてもっとも重要である文教施設の整備は、昨年度に引き続き一小的の四期工事・体育館と二小の危険校舎の全面改築・一幼の移転改築があり、補助起債のほかかなりの財政負担が必要で、なお、都市計画事業を本年より積極的に進めるとともに、町道各路線の舗装、農林道の改良など、新年度は当町にとって始めて三億円を越す積極的大型予算を編成しています。

歳入歳出予算総額は三億三千三百十万円に達し、前年度予算を51%上回り、41年度最終修正予算においてもそれを上回る大型予算規模となっています。

どんな事業をやるのか

新年度予算の投資的経費は総額一億九千二百二十二万円で、58%を占め、前年より八千九百二十万円87%の大幅な増を見込んでいます。

- (1) 一小四期工事費 一六〇八万円
- (2) 同体育館 一七九二〇〇
- (3) 二小校舎改築費 七一八三〇〇
- (4) 一幼移転 一一四六〇〇

右に掲げた事業は、補助起債の内容によっては継続事業となることも考えられます。

併設

一三三六万円

与改訂と年度内定昇給に加えて本年度開設した本通り保育園の職員五人の人件費百八十万円が新たに計上されているからです。人件費の税収入に対する割合は62% (前年60%) に達しました。

一般会計職員の子算定員は、新設の保育園職員を加え百二十二名となりますが、中川町長は、今後事務機構の合理化、効率化を図り人員の減少と人件費の削減に努めると明言しています。

物件費については、つとめてこれを抑制しようとする姿勢がみられますが、人件費と施設増、諸物の値上りの反映により八百二十八万円、21%の増となり、四千七百二十一万円、総予算の14%。

町長はこの点にもふれ、「補助団体の負担などの適正化等にも十分意をもち、今後の予算執行においても経費の節減に努め」と述べられています。

- (7) 町道各路線の舗装改良事業費 二〇六七〇〇
- (8) 県道負担金 二〇〇九〇〇
- 土木事業費の計 三千六百十二万円

- (9) 農林道改良事業費 一四〇〇万円
- (10) 工業排水路事業 一二〇万円
- (11) 山間部落飲料水供給施設事業費 三〇五万円
- (12) 清掃事業費 二六五〇〇
- (13) 消防施設事業費 四〇〇〇〇

なお特殊なものとして

がとりあげられています。

見込む

歳入はどうか

国・県の依存財源31%を含んでいますので、かなり窮屈な予算となっています。

- (1) 税収入 昨年度より一千四百四十一万円 (13%) の自然増を見込み
- 一億二千九百九十四万円 (67%が法人納付)
- (2) 地方交付税 三三〇万円
- (3) 繰越金 一一〇〇〇〇
- (4) 国庫補助金 三三〇九〇〇
- (5) 県補助金 八〇六〇〇〇
- (6) 使用料・手数料

- (7) 財産取入 二小改築にとまなう南北松野学校の売却二千五百万円を含む 三三〇五三〇〇
- (8) 寄付金 三三〇八〇〇〇
- (9) 町債 六一五〇〇〇

町長は「国・県支出金・起債についてには全力をあげてその獲得に

見込む

見込む

努力します。また財産収入・寄付金・教育公債の発行については、「ほしい」と述べています。

42年度富士川町一般会計

歳入歳出予算

(単位千円)

歳 入			(単位千円)		
款	項	金額	款	項	金額
1, 町 税	町 民 税	129,942	7, 県 支 出 金	県 負 担 金	8,059
	町 定 資 産 税	50,960		県 補 助 金	753
	軽 自 動 車 税	52,389	委 託 金	5,619	
	町 電 気 消 費 税	1,920	財 産 運 用 取 入	1,687	
	町 電 気 材 引 取 税	9,000	財 産 運 用 取 入	34,526	
	木 目 引 取 税	15,652	財 産 運 用 取 入	1,306	
		20	財 産 運 用 取 入	33,220	
		1	寄 附 金	32,800	
		1	寄 附 金	32,800	
		1	10 繰 入 金	繰 入 金	21
2, 臨時地方特例交付金	臨時地方特例交付金	3,300	11, 繰 越 金	繰 越 金	21
3, 地方交付税	地方交付税	3,300	12, 諸 取 入	延滞金加算金及び過料	12,000
4, 分担金及び負担金	分 担 金	5	町 預 金 利 子	300	
	分 担 金	3	貸 付 金 元 利 取 入	433	
5, 使用料及び手数料	使 用 料	14,838	兼 雑	220	
	手 数 料	7,388	町 債	61,500	
6, 国庫支出金	国 庫 負 担 金	7,450	町 債	61,500	
	国 庫 補 助 金	35,094	歳 入 合 計	333,100	
	委 託 金	1,813			
		32,346			
		935			
歳 出					
1, 議 会 費	議 会	4,574	8, 消 防 費	土 木 管 理 費	4,137
		4,574		道 路 橋 梁 費	25,424
2, 総 務 費	総 務 管 理 費	42,351	河 川 費	95	
	徴 収 費	29,206	都 市 計 画 費	13,810	
	戸 籍 住 民 登 録 費	8,752	住 宅 費	437	
	選 挙 費	1,734	消 防 費	8,355	
	統 計 費	1,804	消 防 費	8,355	
	監 査 費	782	教 育 費	153,891	
3, 民 生 費	社 会 福 祉 費	17,271	教 育 総 務 費	8,739	
	社 会 福 祉 費	9,388	小 学 校 費	115,687	
	児 童 福 祉 費	7,652	小 学 校 費	6,751	
	生 活 保 護 費	186	幼 稚 園 費	17,616	
	災 害 救 助 費	45	社 会 教 育 費	4,078	
4, 衛 生 費	保 健 衛 生 費	26,169	体 育 費	1,020	
	清 水 費	7,798	災 害 復 旧 費	1,479	
	上 水 費	13,046	農 林 水 産 設 施 災 害 復 旧 費	727	
5, 農 林 水 産 業 費	農 林 業 費	5,325	土 木 災 害 復 旧 費	752	
	農 林 業 費	19,950	公 債 費	11,768	
	農 林 業 費	13,589	公 債 費	11,768	
6, 商 工 費	商 工 費	6,361	12, 諸 支 出 金	普 通 財 産 取 得 費	100
	商 工 費	2,705	13, 子 備 費	子 備 取 得 費	100
7, 土 木 費	商 工 費	2,705	歳 出 合 計	333,100	
	土 木 費	43,903			

町の収納支払い方法 変わる

当町の財政規模は、とくに近年著しく増高し、したがって、会計出納件数の増、その一件あたりの金額の増、取引範囲の拡大などから大変複雑化してきました。そこで、こんど、公金の出納事務を合理化するとともに皆さんの便利を図るため、公金の出納を、指定した銀行に執務させることになりました。

① 現金納付
現金のみによる収納
および支払いをしてきましたが、銀行の預金口座を利用する口座振替や小切手等による収納・支払いができるようになりました。それに役場の出納窓口は、銀行の派出員が公金の出納事務を取り扱います。これを指定金融機関制度の採用といいますが、法令では任意となつていますが、当町は将来を見通して実施に踏切ったわけです。二月二十一日、町議会の議決を経て、株式会社清水銀行を指定、当町の公金の出納事務は、四月一日から町内の各金融機関で取り扱うことになりました。

② 小切手等による納付
現金のかわりに納入者の発行した小切手等により納付する方法です。(持参人払い式または収入役や町内の銀行等を受取人とした小切手。郵便振替貯金払出証書、郵便為替証書等で、その有効期間内に支払いの請求ができるもの)
③ 口座振替による納付
町内の銀行等に納入者自身の預金口座のある人に限ります。(この方法を希望される方は、その手続きを役場会計課で)

支払いの方法
原則的には、収入役の振出す小切手により支払うことになりました。ただし、債権者が現金払い、口座振替払いの申出をした場合は希望どおり支払います。

① 小口現金支払い
現金支払いを希望された方には支払日に役場の銀行派出所窓口で現金を支払います。
② 小切手支払い
小切手の現金化は、清水銀行富士川支店に限ります。
③ 口座振替支払い
この方法を希望する方は、その手続きを役場会計課でしてください

① 現金納付
現金のみによる収納
および支払いをしてきましたが、銀行の預金口座を利用する口座振替や小切手等による収納・支払いができるようになりました。それに役場の出納窓口は、銀行の派出員が公金の出納事務を取り扱います。これを指定金融機関制度の採用といいますが、法令では任意となつていますが、当町は将来を見通して実施に踏切ったわけです。二月二十一日、町議会の議決を経て、株式会社清水銀行を指定、当町の公金の出納事務は、四月一日から町内の各金融機関で取り扱うことになりました。

② 小切手等による納付
現金のかわりに納入者の発行した小切手等により納付する方法です。(持参人払い式または収入役や町内の銀行等を受取人とした小切手。郵便振替貯金払出証書、郵便為替証書等で、その有効期間内に支払いの請求ができるもの)
③ 口座振替による納付
町内の銀行等に納入者自身の預金口座のある人に限ります。(この方法を希望される方は、その手続きを役場会計課で)

指定銀行

公金の出納を総括する店

清水銀行富士川支店

出納の一部を扱う店

静岡銀行岩淵支店

清水銀行岩淵支店

清水銀行松野支店

富士川町農業協同組合

※清水銀行富士川支店派出所(役場会計窓口)の出納取扱時間

平日 午前9時~午後3時

土曜日午前9時~12時

気軽に税の相談を

五日の日

税の相談日

一般に、税法はかなり複雑で難解だといわれています。

土地や家屋を売ったときの譲渡所得や、資産をもらったときの贈与税はどれほどになるのか、申告書はどのように書けばよいか、いろいろわからないことが多く、「税金のことはむずかしくてよくわからない。だれか教えてくれる人はいないだろうか」などという声を聞くことがあります。

このような納税者の税金についての疑問や質問に答えるために、税務署では毎月「五日の日」を税の相談日として利用していただい

います。税の相談日の制度は、昭和三十八年五月に設けられ、ことしは五年目を迎えます。年を追うごとにだんだん納税者の皆さんに親しまれ利用する人が多くなっています。

これは、納税者にとってたいへん便利であり、税法上認められる有利な取扱いを教えてもらえることがわかってきたものと考えられます。

清水税務署の昨年度中の相談件数は二〇八件で、前年度の実績と比較すると一倍半となっています。

(1) 毎月五日の日、つまり五日、十五日、二十五日には、全国各地の税務署で「税の相談」を行なっています。この日が日曜日や祝日にあたるときは、その翌日となります

(2) 納税者のなかには、税務署で税金の相談をすると、反対に税金が高くなるのではないかと心配する人がいるようですが、その心配はまったく無用です。納税者は、自分の住所や氏名を言わなくてもよく、またこの税務署へ行って相談してもよいことになっています

もちろん、相談はいっさい無料です。(3) 相談には、税務署の各税担当の幹部が応待し、どのような質問や相談にも責任をもって回答することになっています。

税金についての疑問をもたれたときは遠慮なく五日の「税の相談日」を利用して、解決していただくよう希望します。(清水税務署)

国税に不満の

あるときは

現在、ほとんどの国税は、申告納税制度をとっています。したがって、納税者は税法の規定によって税金を計算して申告し、納税することになります。

一方、税務署は課税の公平を図るため、納税者から提出された申告書の内容を調査し、それが適正でない場合は更正したり、また税金が滞納となった場合には、納税者の財産を差押えたりします。

しかし、納税者がこのような税務署の処分不服がある場合には「異議申立て」を行なって、その処分について訂正を求めることができ、またこの異議申立てに対する税務署の決定があってもなお納得できないときは、さらに「審査請求」をすることもできます。

以下、納税者の権利を保護するために設けられている「異議申立て」や「審査請求」などの手続きについてお知らせします。

(1) 税務署長の行なった処分、たとえば所得税、法人税などの申告に対する更正、無申告に対する決定加算税の賦課決定、青色申告の承認申請の却下、承認の取消し、納

税が遅れた場合の財産の差押えなどについて不服のある納税者は、税務署に「異議申立て」をすることができます。この異議申立ては書面によって行なう必要があります。

その書面を処分の通知を受けた日または処分があったことを知った日の翌日から起算して一か月以内に出さなければなりません。期限内に遅れると、申立ては、内容の審理をしないで却下されますから注意する必要があります。

税務署では、納税者から異議申立てを受けると、原則として三か月以内に調べ直して、その申立てを認めるかどうかを税務署長が決定して納税者に通知します。

なお、国税局長の行なった処分について不服のある納税者は、国税局長に対して異議申立てをすることができます。

(2) 異議申立てに対する税務署長の決定にもまだ納得できないときは、国税局長に対して「審査請求」をすることができます。

この審査請求の手続きは、異議申立てと同様に、不服の事由を記載した書面に必要な書類を添えてその決定の通知を受けた日の翌日から起算して一か月以内に提出しなければなりません。

なお、所得税や法人税の青色申告者が更正を受けた場合は、税務署長に異議申立てをしないで、直接、国税局長に審査請求をすること

もできます。また、異議申立てをしてから三か月を経過したにもかかわらず、税務署長の決定がない場合は、自動的に審査請求があったものとみなされることになっています。

(3) 国税局長に出された審査請求や異議申立てについては、国税局長に設けられている協議団が審理し、その判断に基づいて、国税局長が判決や決定をすることになります。

この協議団は、納税者の不服について第三者的立場にたつて公平に処理するために設けられている機関で、経験の深い協議官で構成されています。

協議官は、納税者と処分を行なった税務署の言い分を十分に聞きどちらの言い分が正しいかを三人以上で慎重に審議し、公平に判断することになっています。

(4) 国税局長の判決や決定にもまだ納得できないときは、「訴訟」を提起することができます。提起できる期間は、その判決や決定のあったことを知った日から三か月以内です。税金に関する訴訟は、このように、国税局長の判決や決定を経たあとでないと提起できない

ことになっていきます。
 (5)以上述べた異議申立て、審査請求、訴訟の手続きは、納税者の権利として法律で定められているものですが、この制度を利用できなかったときは、国税庁や国税局の協議団に設けられている「税務相談所」を利用する方法があります。
 税務相談所は、税金についていろいろな相談に応ずると同時に、税務署長の処分や決定に対しての不満の申出も受け付けています。
 この申出は、口答でもできます。期間を経過したため、異議申立てや更正の請求ができなくなった納税者についても、その納税者の言い分を十分に聞いて、その解決を図っています。なお、県内の協議団と税務相談所は次のとおりです。
 静岡市追手町六〇(静岡税務署内)
 名古屋国税局協議団静岡支部税務相談所

町議選開票結果 新人六人、元二人

四月二十八日行なわれた町議会議員選挙の開票結果は次のとおり(得票数順)
 坪内佐吉 63歳 本通四請負業 無所属 現 五七一票
 太田竹蔵 61歳 坂下 農業 無所属 新 五五八票
 古川喜代松 66歳 宮町 建築業 無所属 現 五二一票
 太田義雄 41歳 東町 会社員 無所属 現 五〇八票
 芦川守正 46歳 木島 会社役員 無所属 現 五〇六票
 渡辺 清 58歳 新町 無職 無所属 新 五〇一票
 鈴木富治 66歳 中沢 農業 無所属 新 四九一票
 桐山良雄 53歳 半在家農業 無所属 現 三三七票
 市川政男 50歳 根方 農業 無所属 元 四五三票
 渡辺忠作 71歳 本通 農業 無所属 現 四四六票
 簀 武司 55歳 川坂 農業 無所属 元 四四五票
 望月好夫 52歳 山田 会社員 無所属 新 四三三票
 高岡太郎 57歳 辻 農業 無所属 新 四一三票
 佐野義策 70歳 清水水農業 無所属 現 四〇五票
 齋藤昌己 34歳 東町 建設業 日本共産党現 三九〇票
 齋藤六郎 58歳 旭町 製菓業 無所属 現 三七七票
 若月 清 58歳 川坂 農業 無所属 現 三三七票

投票区	有権者	投票数	%	立候補	当選	得票	一人当り
北松野	1,181	1,161	98.3	3	3	1,308	436
南松野	1,423	1,372	96.4	4	3	1,663	416
木島	504	494	98.0	1	1	506	506
岩淵	2,096	1,920	91.6	2	2	935	468
中上	2,092	1,866	89.2	4	4	1,818	455
中下	1,843	1,697	92.1	5	5	2,237	447
計	9,139	8,510	93.1	19	18	8,467	446

町議選投票結果表

望月亀蔵 無所属 現 三四八票
 55歳 東町 農業
 無所属 現 三二一票
 次点
 二又川海造 59歳 原方 農業
 無所属 現 三一四票
 有効投票 八四六七票
 無効投票 四二票
 不 一票
 投票総数 八五一〇票

連合青年団 幹部新たに

町連合青年団は四月十日、老人福祉センターで42年度の定期大会を開催、次の役員を選出しました
 団長―渡辺幸一(界町) 副団長
 望月志郎(山田)・篠根奈津美(本通り一) 常任理事―木伏利広(三十坂) 常盤博昭(木島) 文化担当―小林功利(南町) 小沢勝己(道下) レク担当―土橋一夫(小池) レク担当―大村武(川坂) 体育担当―齋藤守弘(体育担当) 望月鈴子(根方) 文化担当―望月英里(根方) 天野光子(相生町) 内藤照代(上町) 監事―平田厚夫(木島) 蓮池淳一(東町) 望月周子(上町) 事務局―西村雅己(木島) 局員―池田一郎(相生町)

学習会 月2回
 ・交流 ソフトボール大会6月4日
 ・バレーボール大会6月25日
 ・キャンプ7月15日・クリスマス12月中旬
 ・派遣 県青年祭ほかへ
 団員
 研修
 団員研修5月14日11月12日
 リーダー研修 月1回

明るい便り

蒲原ライオンズクラブ

ライオンズクラブが、結成五十周年を記念して、先にク平利は可能であるクをテーマに論文を世界各国のライオンズクラブから募集蒲原ライオンズクラブからも百四十四編が応募(広報ふじかわ二月号で紹介)、審査の結果、桑原良介君(蒲原町・中央大学商学部)が一位に入賞、続いて、このたび中部地区(静岡・愛知・長野の百五クラブ・一万一千二百九十編)においても一位を獲得、全日本の審査に進出することになりました。日本全国で応募したクラブは一千百十七、論文総数は三万九千四百三十三編です。
 日本一の論文は、次にはアジア地区の審査に進み、一位となった場合は、いよいよ世界一の審査の場に進出することになります。
 蒲原ライオンズクラブは、今回のこの栄誉を心から喜ぶとともに同君の論文が次々と難関を突破されるよう祈っています。

42年度の事業計画

- ・定期大会 年1回
- ・「青年ふじかわ」発行
- ・B5版8P 年2回
- ・回覧広報 随時
- ・体育大会 分団対抗
- ・研修

24年度

正副区長

(○印再任・敬称略)

区名	区 長	副区長
木島	○芦川貞治	芦川芳光
小山	常盤貞男	小林教馬
室野	望月金吉	
相生	○小林正衛	斉藤 勲
上町	望月安次郎	佐々木三男
舟山	○青木彦治郎	植松茂一
坂下	○斎藤貞次	太田清一
旭町	○久保田為雄	大村好光
堺町	伊東三千男	小田重市
川坂	義 正己	望月好暉
新町	清水隆吉	望月好暉
新四	森山清市	伊東竜之助
宮町	○浅場峰一	秋山光男
小池	佐藤秀丙	野沢義雄

本一	○田村音作	望月正己
本三	○池上 憲	山本貞三
本四	綿谷平次郎	丸橋成太
幸町	○宇佐美吉太郎	渡辺春一
東一	○依田宮治	山崎吉治
東二	○三浦松寿	伊藤寿静
日の出	○若月秀雄	
かぎあな	望月久一	
南町	錦織常雄	
天野	敬	
和泉利一		
渡辺利雄		
影島 尊		
清水善穂		
久保田秀雄		
国本定直		
望月 重		
斎藤大一		
深沢安行		
望月光男		

望月良一	稲葉湊作	山本貞三	清水町	久保田広雄	久保田教雄	白井由夫	佐野達雄	蓮池政春	小川 峻	朝比奈新一	蓮池小市	高岡正亥	和泉繁治	池上 憲	青木彦次郎	錦織常雄	宇佐美英三・二又川寿男・常盤貞男・小林正衛・浅場峰一・三浦松寿。
------	------	------	-----	-------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	------	----------------------------------

納 税 委 員 保 健 衛 生 委 員

望月良一	稲葉湊作	山本貞三	清水町	久保田広雄	久保田教雄	白井由夫	佐野達雄	蓮池政春	小川 峻	朝比奈新一	蓮池小市	高岡正亥	和泉繁治	池上 憲	青木彦次郎	錦織常雄	宇佐美英三・二又川寿男・常盤貞男・小林正衛・浅場峰一・三浦松寿。
------	------	------	-----	-------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	------	----------------------------------



区名	納税委員	保健衛生委員
木島	平田広胤	常盤 武
小山	植松好雄	井上又一
室野	望月 進	望月 実
相生	清 泰二	篠田天秀
上町	大村文夫	原 一夫
舟山	望月正市	清水邦太郎
坂下	丸山 光	常盤 登
旭町	小泉 恒	望月年治
堺町	望月国太郎	渡辺敏定
川坂	望月圭三	秋山万蔵
新町	古木村右エ門	堀沢清次
新四	小島善一	佐野浅吉
宮町	浦田善太郎	望月 昇
小池	望月恒雄	中川徳次郎
本一	斎藤房治	山本 一
本三	金指恭三	木内力松
本四	塩坂 博	斎藤禾広
幸町	太田平作	関原清作
東一	深沢千代治	田辺久義
東二	広田良文	大石由太郎
日の出	鈴木省吾	木内まつ
かぎあな	小林新作	小林新作
南町	望月久一	望月久一
	佐野逸策	佐野逸策
	佐野正豊	佐野仁一
	和泉利一	小林松雄
	小林安行	望月教馬
	影島 尊	影島 尊
	清水善穂	清水善穂

無 料 人 権 相 談 (秘 密)

○毎月15日午前9時半から老人福祉センターで定例相談所を開いています。

△どうかしてもらいたい △生活をおびやかされている △どうしていいかわからない △不親切な目にあった。

○こんなことを相談できます。

恩給・年金・登記・税金・生活医療保険・環境衛生・農地・道路交通・河川・公害・認可許可などまた国鉄・電々・専売・公団公庫などについての相談。

○相談をうける人。

行政管理庁や法務省、厚生省からそれぞれ委派されている行政相談員・人権擁護委員・民生委員等

松野地区 こども会リーダー の活動



写真 上・オバキューも出演、楽しい「母と子のつどい」第二公民館 下・市川牧場でリクレーション

初夏です。
富士川町松野地区こども会世話人会連合会(会長・小林功利)は、富士川地区こども会世話人会連合会(会長・益木新一)が五月五日

風かをる五月の空に、ヒゴイ、マゴイの乱舞する三日、わたくしども南町婦人会支部とこども会の合同の遠足が行なわれました。大気はあくまでも 声

清く、わらび・ぜん、こども会リーダーに、まゝい・ふき等、野の幸におおわれ、つつ 南町婦人会支部長

じの花も咲きこぼれる市川牧場。二時間ほどの道のりを、三歳の幼児から五十歳前後のおかあさんまで、手をつないで、楽しく語りながら踏破したものです。

人たちである南町婦人会支部の皆さんとともに市川牧場へ遠足。牧草の茂る広野で、こどもとおかあさんたちのゲームを指導、左上の「声」のように感謝されています。また、七日には、第二公民館で一時から三時半までの間、「母と子のつどい」を開催、四百人の母子に、楽しいひとときを提供しました。小林会長は次のように語っていました。

「七日には、中川町長をはじめ学校長、議会、社会福祉協議会、青少協の方々が多数ご出席のうえ多分な祝儀を添えて励ましのことばをいただき、その暖かいご理解感謝のほかありません。リーダーたちは、フアイトにみなぎっており、今後も積極的に活動していきます。」

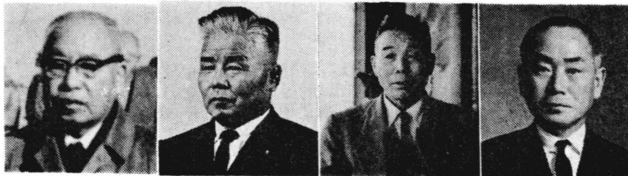
富士川分區 赤十字事業功労者 として受賞

赤十字社創立周年記念大会で

赤十字社創立九十周年記念大会が、五月八日、東京日比谷公会堂で開催されました。

天皇、皇后両陛下、皇太子妃殿下をはじめ各宮家の妃殿下のご臨席のもと、全国の代表者が参列し盛大な記念式典が挙行されました。この席上、日赤富士川分區および中川町長は赤十字事業功労者と

して表彰されました。また日本赤十字社に高額社資を寄付されたつぎの方々が式典に招待され、皇后陛下から赤十字有功章が親授されました。(敬称略)



— 赤 十 字 有 功 章 受 賞 者 —

望月儀一氏 坪内佐吉氏 望月年春氏 中川国兵氏

古川かよ 望月章光 平田広胤

日赤富士川分區 中川分區長 赤十字社関係の全国代表が参加天皇陛下から「国際赤十字として世界の平和と人類の福祉に貢献してください」とのお言葉のあと、当分區の「全戸社員加入運動」と「社資募集事業完遂」の功績が高く評価され、二つの表彰を受け、さらに分區長としての個人表彰も受けました。

これも、町民皆さんが赤十字事業を積極的にご支援くださった賜物で、厚くお礼を申し上げます。とくに、四十一年度の社資募集は、目標額に対して二九四%という驚異的な実績をあげることができました。

なお、今月は赤十字の月となっております、社員に加入されている二千四百人の方に社資納入のお知らせをしますので、ご協力をお願いします。

金色有功章 望月儀一 坪内佐吉 望月年春 望月章光 平田広胤 銀色有功章 中川国兵 坪内隆子 (とくに親授される) (敬称略)

静岡県支部長より 角替光二

合併十周年を祝い

各種記念行事を実施

四月一日は、旧富士川町と松野村が合併して満十周年目、町では三月二十六日の日曜日に、これを記念して式典ほか各種の行事を実施しました。

青空に打揚げ火花が響き、式場の第一公民館には四百名近くの来賓・表彰者・一般の皆さんが出席しました。

自衛隊音楽隊のファンファーレのもと次々に表彰ならびに感謝状贈呈が行なわれましたが、受彰された方の感激が場内を圧し、感動



写真 自衛隊富士学校音楽隊を先頭に町内行進、町長をはじめ全消防団員も参加相生町附近

なひとときでした。

続いて芸能大会に入り、自衛隊音楽隊の演奏、文化協会舞踊部の踊りのほか新作「富士川小唄」が発表されました。

音楽隊の演奏する悲壮感あふれる曲、軽快なリズム、あるいは素朴な民謡のテンポ。しっとりとした情感にあふれる富士川小唄……観客席の皆さんの心を十分魅了し尽したようです。

芸能大会の終了後、表彰者記念撮影があり、十二時過ぎ、二会場で祝宴。

役場全職員は、この日、休日を返上して、準備・受付・案内・整理・接待の仕事に従事しました。

また、町内全世帯へもれなく記念品を贈り、また冊子・町勢要覧「十年の歩み」を配付して、当町が合併後十年、どのように推移してきたかを公表しました。

前日、二十五日には、音楽隊の町内行進、松野地区第二公民館での前夜祭が開催されました。

富士川小唄

合併十周年記念行事の一つとし

写真 式典後の芸能大会で新作「富士川小唄」の発表、歌手は斎藤定子さん（相生町）



て、「富士川小唄」の制作発表が企画され、二月十日付町内回覧でその歌詞を応募したところ、二月二十八日の期限までに16点の作品が寄せられました。

三月三日、十二名で組織された審査委員会が公正に審査した結果次の方の作品が入選しました。

◎締切りをはるかに過ぎた三月十一日に、坂下・中之郷直という方から作品が届きましたが、このような事情で審査の対象になりませんでした。連絡のしようがありませんので紙上でお断りします。

◎審査の方法、全作品に番号を付け、氏名を伏せてガリ版刷りしたものを審査員に配り、審査員は何番と何番とがよいというようにして第一次から第三次を経て入選

作を決定しました。

(敬称略)

一位 甘露寺雄次郎 (坂下)

二位 芦川照江 (相生町)

三位 斎藤かつ子 (本通り)

審査委員会は、一位・甘露寺雄次郎氏作詞に多少手直しを加えたものを「富士川小唄」の歌詞として採用することにしました。なお

委員会では「作品の中にはすぐれた歌詞がありましたがいわゆる小唄調に遠く失格した作品もあり惜しまれます」といっています。

作曲は、自衛隊富士学校音楽隊長高田忠良氏に依頼、ここに、情緒豊かに富士川町を表現し、明るい未来を象徴する「富士川小唄」

の日、全職員、休日を返上。

写真 式場前の受付風景。この日、全職員、休日を返上。



が完成したものです。

発表は、三月二十六日の式典後の芸能大会で行なわれました。

入選者へ賞状と賞金が贈られ、続いて自衛隊音楽隊の伴奏で、斎藤定子さん(相生町)・斎藤音楽教室の先生)の独唱により発表された。

さらに、委員会では、益踊りなどに皆さんが楽しく気軽く踊れる振付けを考えており、「富士川小唄」が皆さんのものとして、長く生き続け、やがては名実とも郷土の唄として定着するよう希望しています。(歌詞は、皆さんの世帯へ配付した十年の歩みに掲載)

記念ポスター募集

合併十周年を記念して、一小・二小児童の皆さんからポスターを募集しました。

入選作品は、三月二十六日の式典当日、会場入口に掲載、広く町民皆さんに見ていただきました。

応募点数は一六六(一小・一〇七点、二小・五九点)、ポスター審査委員会で慎重に審査した結果、次のように決まりました(敬称略)

三年の部 (二五点)

一位・渡辺英二 二位・養恒男

三位・芦川美里 斎藤勝彦

佳作・鈴木ひろし、田中実、渡辺

久司、斎藤紀代美
 (以上は全部一〇二小は、この部では出品なし)
 四年の部 (九点)
 一位・ナン 二位・藤島善彦 三位・ナン
 佳作・石川なおし 斎藤えり子 丸山智恵美
 (以上は全部一〇二小は、この部では出品なし)
 五年の部 (三四点)
 一位・鎌田陽子(一〇二小) 二位・滝晴美(二〇二小) 三位・鈴木章司(一〇二小)

佳作・小笠原勝美(一〇二小) 長谷川泰(一〇二小) 宇佐美政俊(二〇二小) (一〇二四点 二〇二〇点)
 六年の部 (九八八点)
 一位・林雅弓(二〇二小) 二位・稲垣紗波(一〇二小) 斎藤晴彦(一〇二小) 三位・小沢充(二〇二小) 佐野篤子(一〇二小)
 佳作・養義仁(一〇二小) 前島淳(一〇二小) 二又川雅之(二〇二小) 稲川千夫(二〇二小) 宇佐美達雄(二〇二小) 大島みどり(一〇二小) (二〇五九点 二〇三九点)

今回の表彰者一〇六人

六五人に感謝状

今回の富士川町合併十周年の佳日に際し、次の方々が表彰を受け、あるいは感謝状を贈呈されました。町のために尽くされた方、善行が深く、ほかの範となつていらっしゃる、その長年の功をたたえ、その功にむくいるため「町表彰条例」の規定により、表彰することになつてゐるからです。

慣習的には、町の記念すべき時点で顕彰することになっており、旧富士川町は、すでに過去五回、記念表彰を実施しています。松野地区は、村当時、表彰が行なわれていなく、今回、初のことで、そのため、比較的多数の表彰者を出

呈されました。分野は違つていても、ともに富士川町の進展に寄与されたこれらの方々に、町民として、深い感謝を捧げたいものです。

写真 表彰種別ごとに代表者が登壇。盛んな拍手と音楽隊のファンファーレを受く。中央、野田社長。



合併十周年記念(第六回)表彰

(敬称略)

町会謝恩

中川国兵 天野謙一
 天野政太郎 稲葉森吉 稲葉英一
 浦田彦作 宇佐美広 上野熊吉 小川友次 郎小川かい一 神戸多十 神戸惣十 影島林作 木伏松三郎 木伏運平 佐野亀作 佐野三郎右衛門 佐野博一 清水治三郎 清水此吉 白井和吉 田中秀穂 田中貞吉 高岡由太郎 手島伊之助

自治功勞

多額寄付者 大村幸次(故人) 今井英一 大村保 植松清 野間登喜子 花田一太郎 望月広巳 谷津倉寛一(故人) 谷津倉諄吉 富士川製紙株式会社 野田合板株式会社 本州製紙株式会社 日本軽金属株式会社

善行者 小林タカ 斎藤はる江 堀内さち 望月寛治

望月三木治 望月麟策 望月昇 望月利作 望月宗吉 以上故人 一 芦沢美之作 芦川利一 雨宮周司 池谷孝太郎 石川浜吉 石川均 石川伝作 植松鉄蔵 浦田呈蔵 宇佐美晴雄 大村益 神戸鹿治 佐野好暉 佐野隆之 佐野義策 鈴木富治 高岡太郎 高岡文夫 森中重雄 平野昶 望月亀藏 望月隆策 望月健一 渡辺忠作 若月清 若月栄 若月万作 若月幾太郎 佐藤虎次郎 斎藤頼夫 中川国兵

教育文化功勞 上野実太郎 上野う志 神戸節三 神戸英太郎 佐野謙三 以上故人 一 佐藤宗男 原田良之輔 望月喜久郎 望月嘉正 渡辺清 井上俊夫 野間省一 産業経済功勞 望月林一(故人) 伏見宗一 稲葉由蔵 野田力三 社会福祉功勞 稲垣甲子男 小沢素良 篠田弥天 田中好子 水口大礼

保健衛生功勞 秀村末男(故人) 秋庭恒 田辺次郎 秀村敬朗 宮沢孝 治安維持功勞 坪内佐吉 柳下寿男

感謝状を贈呈された方は次のとおり。
 (敬称略)
 永年勤続 佐野謹子 杉山多次郎 二又川寿男 深沢幸江 望月とし 芦川藤雄 大久保芳夫 加藤勲 久保田安男 佐野正豊 望月宣男 渡辺勝 磯部勝太郎 望月玉開(故人)

写真 式典終了。出席者全員で万歳。奉祝の気運ひとしお高まる。このあと表彰者の記念撮影

歴代町長 若槻武樹 常葉一郎



写真 式典終了。出席者全員で万歳。奉祝の気運ひとしお高まる。このあと表彰者の記念撮影



写真 第二会場の祝宴。(図書館)

斎藤金平 斎藤邦雄 稲葉森吉
 田中貞吉 望月三木治 田中秀穂
 望月利作 清水治三郎 天野伝作
 小川友次郎 佐野亀作 望月麟策
 天野謙一 佐野滋 清水此吉 白
 井和吉——以上故人——池谷孝太
 郎 中川国兵 望月隆策
 合併促進協議会委員 角替和一
 植松巳代治 芦沢忠二 斎藤邦雄
 浦田朝司 清水次郎 天野謙一
 ——以上故人——池谷孝太郎 柳
 沢鷹次 望月年春 立花平次 野
 田力三 望月儀一 中川国兵 高
 岡文夫 石川均 佐野隆之 望月
 貞一郎 秀村敏朗 望月五市 桐
 山良雄 佐野繁雄 小沢素良 高
 岡太郎

以前の記念表彰により受彰した方は次のとおり。
 御大礼記念(第一回)表彰
 昭和三年十一月三日(敬称略)

自治功勞 若槻直作 常葉一郎 望月卓三 若月強作 水上立保
 斎藤三郎 伊東亀年 斎藤住郎 谷津倉寛一 中川国兵
 萩野久吉 勝呂松三 長谷川市太 善行者 植松忠七 佐藤和十郎
 郎 望月作太郎 芦川兼吉 大村 常盤甲子三 望月寅吉 植松作次
 桂藏 雨宮昇三 斎藤卯左衛門 郎 長谷川安平 常葉茂樹 渡辺
 望月儀平 斎藤善右衛門 望月伊 秋太郎 増田仙之助 若林茂作
 右衛門 若月惣三郎 望月轍太郎 望月富藏(続与一 小林直守 坪
 佐野友平 塩川宇吉 花田丈助 内金作 渡辺幸作 丸山鉄太郎
 勝呂平右衛門 田中半兵衛 浦田 山梨梅吉 斎藤荒吉 山本儀平
 富太郎 渡辺惣藏 斎藤高次郎 若月富吉 藤島虎吉 長谷川文作
 斎藤徳次郎 植松保太郎 芦川助 深沢市三郎 竹島菊次郎 明石し
 次郎 芦川作次郎 望月富吉 若 人
 月茂七 望月尚一 若槻正作 望 地方制度改正記念(第三回)
 月字吉 芦川清作 斎藤金次郎 表彰 昭和二十二年二月十一日
 渡辺直吉 浦田松太郎 関柳圃 (敬称略)
 錦織健雄 天野チヨ 遠藤定一 町会謝恩 斎藤邦雄
 川口熊吉 坂部三太郎 斎藤卯三 自治功勞 若槻直樹 望月富藏
 郎 斎藤金平 尾崎初次郎 斎藤しげる 渡辺亀
 善行者 藏 斎藤蔵雄
 水口一枝 小笠原孝平 堀内金作 町制施行五十周年記念(第四回)
 深沢市三郎 佐野安太郎 佐藤惣 表彰 昭和二十五年五月三日
 作 明石しん 斎藤むら 斎藤よ (敬称略)

紀元二千六百年記念(第二回) 自治功勞 若槻武樹 常葉一郎
 表彰 昭和十五年十二月二十日 斎藤三郎 伊東亀年 勝呂重作
 町出身篤志者謝恩 斎藤定藏 渡辺直吉 斎藤住郎 若槻正作
 町会謝恩 勝呂重作 萩野久吉 長谷川市太郎 常盤弥
 自治功勞 望月隆太郎 若槻貞雄 兵衛 長谷川義三 芦川兼吉 大
 野田幸作 望月儀一 田中京次郎 村桂藏 斎藤卯左衛門 若月惣三
 宮沢定衛 角替和一 丸山彦之助 吉 望月伊右衛門 雨宮昇三 浦
 植松巳代治 斎藤仁三郎 斎藤金 田富太郎 若月茂七 渡辺惣藏
 平 花田泰輔 斎藤伊三郎 花田 田中半兵衛 望月轍太郎 望月宇
 芦沢忠二 井上啓作 雨宮作次郎 吉 斎藤金次郎 芦川作次郎 望
 月尚一 斎藤善右衛門 斎藤五郎

左衛門 望月富吉 植松保太郎 望月儀一 谷津倉春吉 田中京次
 斎藤徳次郎 野田幸作 芦川清作 郎 簀常次郎 角替和一 丸山彦
 雨宮作次郎 芦川大吉 斎藤高次 之助 植松巳代治 花田平作 若
 郎 芦川助次郎 関柳圃 勝呂平右 月幾太郎 常葉松雄 望月富藏
 衛門 花田泰輔 小笠原孝平 斎藤 邦雄 斎藤しげる 芦沢忠二 勝
 呂松三 望月隆太郎 斎藤仁三郎 望月儀一 宮沢倉春吉 田中京次
 郎 若槻貞雄 宮沢定衛 斎藤金平 野間省一 生田台宗 富士川製紙
 株式会社 本州製紙株式会社 野 田合板株式会社 尾崎初次郎 望
 月令三 斎藤卯三郎 遠藤定一 池谷竜助 川口熊吉 坂部三太
 郎 水上立保 草ヶ谷きよ子 深 沢市三郎 斎藤むら 竹島菊次郎
 中川国兵 斎藤金平 渡辺亀藏 斎藤蔵雄 篠根チヨ 望月卓三
 桐谷しづ 田村タカ 常盤つや 若月強作
 善行者 池谷宇吉 植松よし 花 田ふき 斎藤いま 望月かね
 講話発効・図書館落成記念(第 五回)表彰
 昭和二十七年八月五日、 (敬称略)
 自治功勞 渡辺光枝 産業永年勤続 斎藤千代吉 斎藤
 愛蔵 中村忠作 清由太郎 池上 定吉 水野信太郎 斎藤治平
 善行者 若月吉太郎 岩崎柳吉

米倉藤作 望月清 田村音作 和 田博 森山つや 富士川町婦人会 小山・小池・旭町二丁目町内会
 望月寛治さん (旭町)
 昭和32年より10年間、一日も休まず、国道一号线を横断通学する児童生徒の交通安全を守り、緑十字章を受ける等、町内外から感謝され、高く評価されています。
 写真 悲願の信号灯ができるまで実に10年、こどもを守る望月さん。
 堀内きちさん (新町)
 昭和19年、夫の失職失業の不幸にあいながら、以来よく困苦にひるまず生計を維持してきました。
 斎藤はる江さん (幸町)
 家族三人の入院療養という不遇に屈せず、工場勤務と家事を通じて家計を主宰しています。
 小林タカさん (第二小)
 昭和9年、松野村小学校校務員に採用され現在まで実に32年、責任感重く、よく職務を果しました



善行者の横顔

教職員の移動

四月の教職員人事異動により、町内の先生も次のように変わりました。

転出 (敬称略)

校長 職名 氏名 転出先

一小 教諭 遠藤梅子 蒲原西小

〃 〃 関 富枝 由比小

〃 〃 齋藤玲子 蒲原西小

二小 校長 神戸秀臣 蒲原東小

〃 〃 佐野節子 蒲原東小

〃 〃 深沢幸江 蒲原西小

〃 〃 上野三郎 由比小

一中 校長 佐藤栄男 (退職)

〃 〃 鈴木基之 二小

〃 〃 望月富子 蒲原中

〃 〃 川崎順子 富士宮二中

二小 教諭 片平公夫 芝川中

〃 〃 池田 清 蒲原中

〃 〃 高村政子 一中

〃 〃 神谷恭平 蒲原中

〃 〃 岩崎有男 浜松西部中

〃 〃 新井田弘子

〃 〃 浜松南部中

事務職 二又川寿男(退職)

転入

校長 職名 氏名 前任校

一小 教諭 遠藤正子 蒲原西小

〃 〃 袴田博道 由比東小

〃 〃 伊豆川道江 蒲原西小

二小 校長 根津昇二郎 由比中

〃 〃 教諭 田中きみ子 蒲原西小

吉田八重 蒲原西小

遠藤 誠 元吉原小

内田保之 清水市二見小

望月孝子

安倍玉川東小

校長 松永義道 由比西小

〃 〃 伏見とみ 蒲原中

〃 〃 高村政子 二小

〃 〃 後藤秀雄 蒲原中

〃 〃 望月明久 (新卒)

二小 教諭 坂本功成 蒲原中

〃 〃 鈴木基之 一中

〃 〃 松林静代 (新卒)

〃 〃 横溝昭文 (新卒)

〃 〃 松永 猛 (新卒)

〃 〃 事務職渡辺よし江 (新卒)

各学校の学級・教員数

校長 学級数 教員数

一小 25 31男13

二小 (内・特殊学級1) 女18

二小 13 17男10

二小 (内・特殊学級1) 女7

一中 14 23男16

二小 (内・特殊学級1) 女7

二小 6 12男9

町教育関係職員の移動

校長 職名 氏名

一小 給食係 望月ふじ江

八幡 笠井 孟

清水 宇佐美嘉友

相生 多芸邦芳

木島 佐藤照彦

宮町 望月光男

東一 皇野森三

宮町 宇野正司

幸町 望月光男

退職

二小 事務補助 望月正子

一中 給食係 入沢由美子

一幼 助教諭 笹林美代子

新任

一小 給食係 木本美代子

二小 事務補助 小川雅己

一中 給食係 岡野征子

一幼 助教諭 望月正子

一口ばなし

ことしの母の日は五月十四日。

なくなつたおかあさんをしのぶ

人は胸に白カーネーションを、健

在の人は赤を……。いまから約六

十年前、アメリカのウエストバ

ルニア州ウエプスター町に住むア

ンナという少女が母の命日に白カ

ーネーションの花たばを霊前に捧

げ、人々にかけてあげたというの

がそのおこりとわわれています。

一九一四年、アメリカ議会は五

月第二日曜を母の日と決めました

人の流れ

3, 20, 19, 4

祝 結婚

(敬称略)

区名 新郎 新婦 旧姓

東一 皇野森三 節子 伊東

宮町 宇野正司 いつ子若月

幸町 望月光男 能子 望月

木島 佐藤照彦 多美子 奥

相生 多芸邦芳 弘子 岡井

清水 宇佐美嘉友 幸子 永浜

八幡 笠井 孟 チヨ 菊池

宮町 原口 豊

長男

長女

長男

南町 天野一己 房子惣野代

富士見 久保田次郎 悦子 佐藤

盛下 桐山辰美 幸子 仲亀

清水 小池茂雄 愛子 望月

祝 誕生

八幡 稲葉茂雄 清水 矢崎

盛下 久保田征士 敬子久保田

大北 若月勝己 節子 石川

保護者続柄

東一 喜七郎二女

東二 本三

東三 望月則江

東四 古川のぶ子

東五 飯野央子

東六 飯野富子

東七 望月まち子

東八 富士市

東九 沼津市

東十 富士宮市

東十一 富士市

東十二 静岡市

東十三 沼津市

東十四 富士宮市

東十五 富士市

東十六 沼津市

東十七 富士宮市

東十八 富士市

東十九 沼津市

東二十 富士宮市

東二十一 富士市

東二十二 沼津市

東二十三 富士宮市

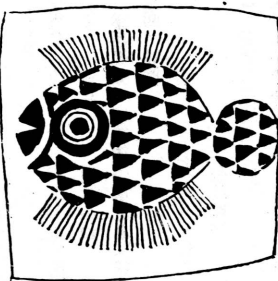
東二十四 富士市

東二十五 沼津市

東二十六 富士宮市

東二十七 富士市

東二十八 沼津市



転出した人

転出先

八幡 齋藤えい子 横浜市

盛下 山田敬子 蒲原町

大北 池谷まさ江 横浜市

清水市

清 克江

出雲政乃

望月則江

古川のぶ子

飯野央子

飯野富子

望月まち子

富士市

沼津市

富士宮市

富士市

静岡市

沼津市

富士宮市

富士市

沼津市

富士宮市

富士市

沼津市

富士宮市

富士市